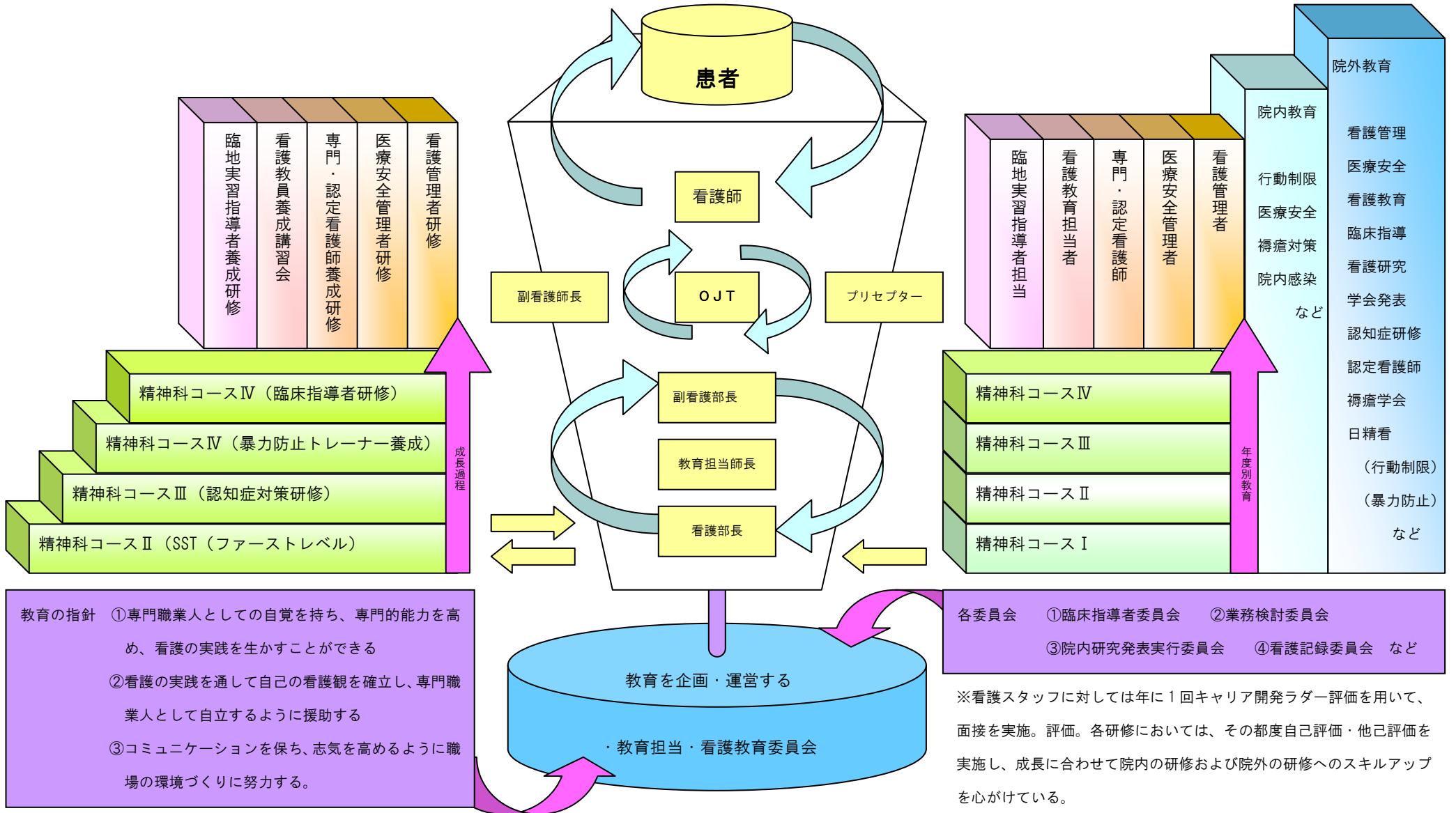




教育目標

1. 目標が李下木でき、社会人として基本的な行動がとれる。2. 専門職業人として責任のある行動がとれる。
3. 安全・安楽な看護技術を実践するために必要な知識・技術を身につける。4. チームメンバーとしての役割を理解し、業務を遂行できる。
5. マニュアルを草創し、医療安全防止、院内感染防止に努めることができる。

キャリア開発プロセス



教育の指針

- ① 専門職業人としての自覚を持ち、専門的能力を高め、看護の実践を生かすことができる
- ② 看護の実践を通して自己の看護観を確立し、専門職業人として自立するように援助する
- ③ コミュニケーションを保ち、志気を高めるように職場の環境づくりに努力する。

各委員会

- ① 臨床指導者委員会
- ② 業務検討委員会
- ③ 院内研究発表実行委員会
- ④ 看護記録委員会 など

※看護スタッフに対しては年に1回キャリア開発ラダー評価を用いて、面接を実施。評価。各研修においては、その都度自己評価・他己評価を実施し、成長に合わせて院内の研修および院外の研修へのスキルアップを心がけている。